

2007年8月22日

関係者各位

株式会社クエスト  
ジャスダック コード番号 2332

**株式会社クエスト、株式会社ドラフト・インの株式の取得(子会社化)と  
データエントリー事業を譲渡(簡易事業譲渡)  
成長が期待されるBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)市場の獲得に向け、  
共同でサービス体制の強化と、独自の“分割イメージ入力システム”の確立に取り組む**

株式会社クエスト(代表取締役社長:佐藤和朗、本社:東京都港区。以下、クエスト)は、今後大きな成長が期待されるビジネス・プロセス・アウトソーシング市場(以下、BPO市場)の獲得に向け、サービス体制の強化と独自の“分割イメージ入力システム”の確立を目的に、国内データエントリー専門会社の株式会社ドラフト・イン(代表取締役社長:清水 一嘉、本社:東京都墨田区。以下、ドラフト・イン)の株式を取得し、子会社化するとともに当社データエントリー事業を同社に譲渡することを、平成19年8月22日開催の取締役会において決議いたしました。

クエストは1965年にデータエントリー事業を中心とする独立系情報サービス企業として誕生し、その後、ソフトウェア開発事業、インフラ運用管理事業へと事業を拡大してまいりました。現在、当社の原点であるデータエントリー事業は、金融業を中心とする大手企業と40年来のお取引を頂いています。

今後のクエストグループの成長戦略「2010年度、連結売上高100億円超企業へ」の一環で、今後大きな成長が期待されるBPO市場を獲得すべく、データエントリー事業のサービス体制の強化と独自の“分割イメージ入力システム”の確立を検討していたところ、データエントリー事業専門の同社がBPO市場に参入を計画しておりましたので、当社のデータエントリー事業の譲渡を前提に同社の子会社化を行い、共同で取り組むことにより、成長戦略の早期実現を目指します。

同社の子会社化と、当社データエントリー事業の統合を通じ、以下の強化策に取り組めます。

統合による売上規模の拡大と安定的な収益基盤と経営基盤の構築

独自の“分割イメージ入力システム”を確立し競争力のあるサービスモデルを確立

40年来の経験を活かし、多種多様な帳票に対応可能で可変的な独自の“分割イメージ入力システム”を確立するとともに、中国などオフショアの人材を活用したサービスモデルを確立し、安定的で高品質かつ低コストのサービスを提供してまいります

営業基盤を強化し、潜在顧客へ積極的に営業を展開

今後の株式取得および事業の譲渡は、平成19年8月31日にドラフト・インの株式を取得(予定)、平成19年10月1日にて事業譲渡(予定)を行います。統合後の社長には、清水 一嘉が就任し、2009年度、売上高3.5億円を目指し、新しい体制で積極的なビジネス展開を図ってまいります。

## 1. 異動する子会社(株式会社ドラフト・イン)の概要

- (1) 商 号 株式会社ドラフト・イン  
 (2) 代 表 者 代表取締役社長 清水 一嘉  
 (3) 本 店 所 在 地 東京都墨田区緑四丁目20番7号  
 (4) 設 立 年 月 日 平成17年10月6日  
 (5) 主 な 事 業 内 容 データエントリー事業  
 (6) 事 業 年 度 の 末 日 3月31日  
 (7) 従 業 員 数 28名(パート社員含む)  
 (8) 主 な 事 業 所 東京、千葉  
 (9) 資 本 金 の 額 10,000千円  
 (10) 発 行 済 株 式 総 数 1,000株  
 (11) 大 株 主 構 成 お よ び 所 有 割 合 大株主1名 100%  
 (12) 最 近 事 業 年 度 に お け る 業 績 の 動 向

	平成18年9月期	平成19年3月期
売 上 高	54百万円	70百万円
売 上 総 利 益	54百万円	58百万円
営 業 利 益	1百万円	0百万円
経 常 利 益	1百万円	0百万円
当 期 利 益	1百万円	0百万円
総 資 産	52百万円	56百万円
純 資 産	8百万円	8百万円
資 本 金 の 額	10百万円	10百万円
1 株 当 たり 配 当 金	円 銭	円 銭

(注)平成19年3月期は6ヶ月決算であります。

## 2. 事業の譲渡の内容

### (1) 譲渡部門の内容

- (a) 部門名: 情報処理サービス部データエントリーグループ  
 (b) 業務内容: 各種データの入力・変換および周辺事務作業を代行しております。

### (2) 譲渡部門の主な経営成績及び財政状態

	譲渡部門(A) (平成19年3月期)	提出会社(譲渡前)(B) (平成19年3月期)	(A)/(B)×100
売 上 高	145,770千円	6,892,470千円	2.1%
売 上 総 利 益	12,042千円	1,244,525千円	1.0%

(注)売上総利益については、社内管理に用いている概算数値であります。

(3) 譲渡部門の資産・負債の項目及び金額

(平成19年3月31日現在)

項目	資産	項目	負債
	千円		千円
流動資産	-	流動負債	-
固定資産	1,753	固定負債	-
合計	1,753	合計	-

(4) 譲渡価額及び決済方法

譲渡価額:175万円

平成19年9月末の譲渡対象資産の帳簿価額をベースに算定しております。  
また、現金による決済を予定しております。

3. 事業の譲渡先

- (1) 商号 株式会社ドラフト・イン
- (2) 代表者 代表取締役社長 清水 一嘉
- (3) 本店所在地 東京都墨田区緑四丁目20番7号
- (4) 主な事業内容 データエントリー事業
- (5) 当社との関係 資本・人的関係はありませんが、協力会社としての取引があります。

4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 株 (所有割合 %) (議決権の数 個)
- (2) 取得株式数 1,530株 (取得価額 15百万円) (議決権の数1,530個)
- (3) 異動後の所有株式数 1,530株 (取得割合 51.0%) (議決権の数1,530個)

(注)平成19年8月31日付で株式会社ドラフト・インは2,000株の第三者割当増資の実施を予定しており、そのうち1,530株を当社にて引受ける予定であります。  
増資引受の内容、引受価額、引受株数、引受後の議決権の割合は上記(2)(3)と同じです。

5. 日程(株式取得および事業の譲渡)

- 平成19年8月22日 取締役会決議(株式取得、事業譲渡承認)
- 平成19年8月22日 事業譲渡契約締結
- 平成19年8月31日 株式会社ドラフト・イン株式取得日(予定)
- 平成19年10月1日 事業譲渡日(予定)(簡易事業譲渡による)

6. 今後の業績及び財政状態に与える影響

今回の株式取得資金は自己資金により充当する予定であります。

なお、今回の事業譲渡および連結子会社化による、当連結会計年度の連結決算への影響につきましては、軽微と見込んでおり、平成19年5月15日付「平成19年3月期決算短信」において公表いたしました平成20年3月期中間期連結業績予想に変更はございません。

また、平成20年3月期通期の業績予想及び財政状態に与える影響に関しましても、軽微と見込んでおり現段階では、予想数値の変更はございません。

ただし、重要な変更等が生じる場合は速やかに開示いたします。

以上

この資料に記載されている株式会社クエストの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

そのため、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を決定することは避けるようお願い致します。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご理解下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれます。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本日この資料は以下の記者クラブに配布しています。

兜クラブ

お問い合わせ先  
株式会社クエスト 経営管理部  
電話番号 03-3453-1181  
FAX 03-3453-1184  
E-mail ir@quest.co.jp  
HP www.quest.co.jp